

グローバル・ダイナミックチェンジ (愛称：大変革時代)

<3487>

追加型投信／内外／株式
日経新聞掲載名：大変革時代

第3期 2024年11月21日決算

受益者のみなさまへ

毎々、格別のご愛顧にあずかり厚くお礼申し上げます。

当ファンドは、日本を含む世界の株式の中から、地政学の観点から各国の国家戦略上重要と判断される企業の株式に投資し、信託財産の成長をめざしております。当作成期につきましてもそれに沿った運用を行ないました。ここに、運用状況をご報告申し上げます。

今後とも一層のお引立てを賜りますよう、お願い申し上げます。

第3期末	基準価額	15,991円
	純資産総額	16,281百万円
第3期	騰落率	14.7%
	分配金	0円

大和アセットマネジメント

Daiwa Asset Management

大和アセットマネジメント株式会社
東京都千代田区丸の内一丁目9番1号
<https://www.daiwa-am.co.jp/>

運用報告書に関するお問い合わせ先



コールセンター 受付時間 9:00～17:00 (営業日のみ)
0120-106212

お客様の口座内容に関するご照会は、
お申し込みされた販売会社にお問い合わせください。

■当ファンドは、信託約款において「運用報告書(全体版)」に記載すべき事項を電磁的方法によりご提供することを定めており、以下の手順で閲覧、ダウンロードいただけます。「運用報告書(全体版)」は受益者の方からのご請求により交付されます。交付をご請求される方は、販売会社へお問い合わせください。



見やすく読みまちがえにくい
ユニバーサルデザインフォント
を採用しています。

◇TKU0348720241121◇

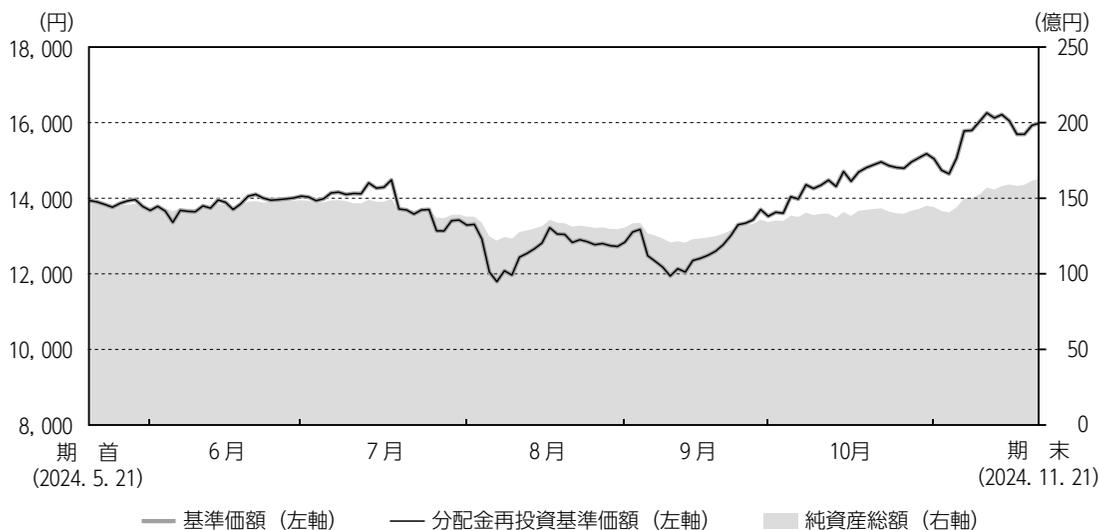
「運用報告書(全体版)」の閲覧・ダウンロード方法

上記のURLにアクセス → ファンド検索欄にファンド名を入力 → リストから当ファンドを選択 → 運用報告書(全体版)を選択



運用経過

基準価額等の推移について



(注) 分配金再投資基準価額は、当作成期首の基準価額をもとに指数化したものです。

* 分配金再投資基準価額は、分配金（税込み）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。

* 分配金を再投資するかどうかについては、お客さまがご利用のコースにより異なります（分配金を自動的に再投資するコースがないファンドもあります）。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、お客さまの損益の状況を示すものではありません。

基準価額・騰落率

期首：13,938円

期末：15,991円（分配金0円）

騰落率：14.7%（分配金込み）

基準価額の主な変動要因

「グローバル・ダイナミックチェンジ・マザーファンド」を通じて日本を含む世界の株式に投資した結果、当作成期の基準価額は、グローバル株式市況の上昇がプラスに寄与し、上昇しました。くわしくは「投資環境について」をご参照ください。

1 万口当りの費用の明細

項 目	当 期 (2024. 5. 22~2024. 11. 21)		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
信 託 報 酬	128円	0. 926%	信託報酬＝当作成期中の平均基準価額×信託報酬率 当作成期中の平均基準価額は13, 819円です。
(投 信 会 社)	(69)	(0. 499)	投信会社分は、ファンドの運用と調査、受託会社への運用指図、基準価額の計算、法定書面等の作成等の対価
(販 売 会 社)	(57)	(0. 416)	販売会社分は、運用報告書等各種書類の送付、口座内での各ファンドの管理、購入後の情報提供等の対価
(受 託 会 社)	(2)	(0. 011)	受託会社分は、運用財産の管理、投信会社からの指図の実行の対価
売 買 委 託 手 数 料	5	0. 036	売買委託手数料＝当作成期中の売買委託手数料／当作成期中の平均受益権口数 売買委託手数料は、有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料
(株 式)	(5)	(0. 036)	
有 価 証 券 取 引 税	0	0. 003	有価証券取引税＝当作成期中の有価証券取引税／当作成期中の平均受益権口数 有価証券取引税は、有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金
(株 式)	(0)	(0. 003)	
そ の 他 費 用	1	0. 009	その他費用＝当作成期中のその他費用／当作成期中の平均受益権口数
(保 管 費 用)	(1)	(0. 005)	保管費用は、海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管および資金の送金・資産の移転等に要する費用
(監 査 費 用)	(0)	(0. 003)	監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用
(そ の 他)	(0)	(0. 001)	信託事務の処理等に関するその他の費用
合 計	134	0. 973	

(注1) 当作成期中の費用（消費税のかかるものは消費税を含む）は追加、解約によって受益権口数に変動があるため、項目の概要の簡便法により算出した結果です。

(注2) 各金額は項目ごとに円未満を四捨五入してあります。

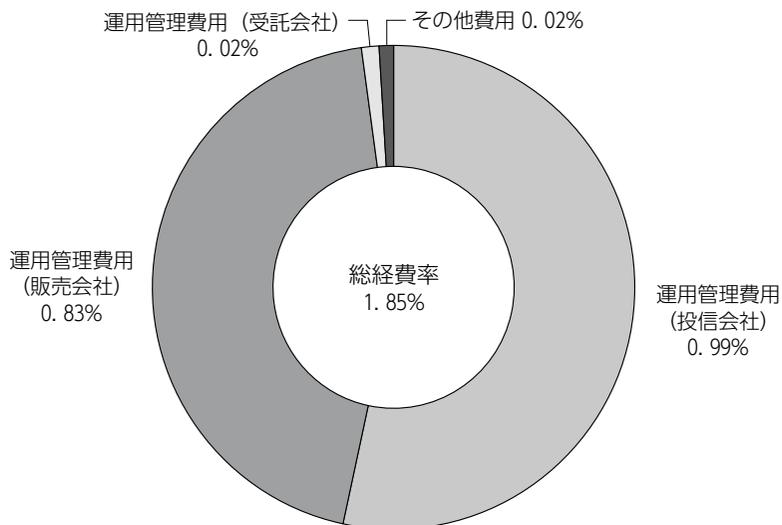
(注3) 各比率は1万口当りのそれぞれの費用金額を当作成期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、小数点第3位未満を四捨五入してあります。

(注4) 組み入れているマザーファンドがある場合、売買委託手数料、有価証券取引税およびその他費用は、当該マザーファンドが支払った金額のうち、このファンドに対応するものを含みます。組み入れている投資信託証券（マザーファンドを除く。）がある場合、各項目の費用は、当該投資信託証券が支払った費用を含みません。なお、当該投資信託証券の直近の計算期末時点における「1万口当りの費用の明細」が取得できるものについては「組入上位ファンドの概要」に表示することとしております。

参考情報

■ 総経費率

当作成期中の運用・管理にかかった費用の総額を、期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額（1口当り）を乗じた数で除した総経費率（年率）は1.85%です。

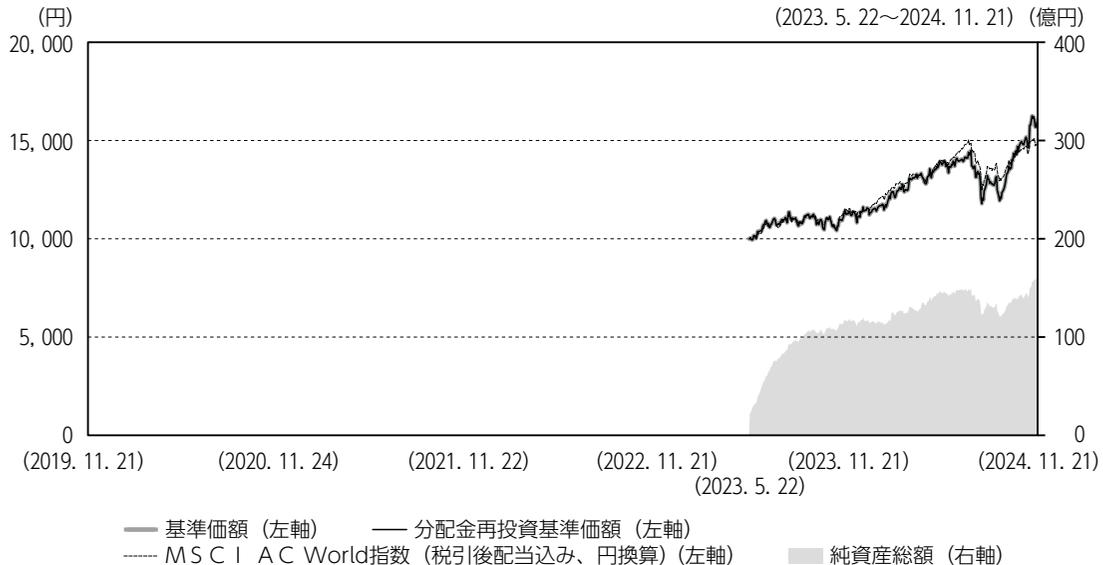


(注1) 1万口当りの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。

(注2) 各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を含みません。

(注3) 各比率は、年率換算した値です。

最近 5 年間の基準価額等の推移について



(注) 参考指数は、2023年5月22日を10,000として指数化したものです。

* 参考指数はM S C I A C World指数 (税引後配当込み、円換算) です。参考指数は投資対象資産の市場動向を説明する代表的な指数として記載しております。

		2023年5月22日 設定	2023年11月21日 決算日	2024年11月21日 決算日
基準価額	(円)	10,000	11,303	15,991
期間分配金合計 (税込み)	(円)	—	0	0
分配金再投資基準価額の騰落率	(%)	—	13.0	41.5
M S C I A C World指数 (税引後配当込み、円換算) 騰落率	(%)	—	14.1	30.6
純資産総額	(百万円)	2,269	11,634	16,281

(注1) 比率は小数点第1位未満を四捨五入してあります。

(注2) M S C I A C World指数 (税引後配当込み、円換算) は、M S C I Inc. (「M S C I」) の承諾を得て、M S C I A C World指数 (税引後配当込み、米ドルベース) をもとに大和アセットマネジメントが円換算したものです。M S C I A C World指数 (税引後配当込み、米ドルベース) は、M S C I が開発した指数です。同指数に対する著作権、知的所有権その他一切の権利はM S C I に帰属します。またM S C I は、同指数の内容を変更する権利および公表を停止する権利を有しています。本ファンドは、M S C I によって保証、推奨、または宣伝されるものではなく、M S C I は本ファンドまたは本ファンドが基づいているインデックスに関していかなる責任も負いません。免責事項全文についてはこちらをご覧ください。
[<https://www.daiwa-am.co.jp/specialreport/globalmarket/notice.html>]

(注3) 海外の指数は、基準価額への反映を考慮して、現地前営業日の終値を採用しています。

(注4) 指数値は、指数提供会社により過去に遡って修正される場合があります。上記の指数は直近で知り得るデータを使用しております。

投資環境について

(2024. 5. 22 ~ 2024. 11. 21)

■グローバル株式市況

グローバル株式市況は、一時的な調整を挟みながら上昇しました。

グローバル株式市場は、当作成期首より、2024年5月のFOMC（米国連邦公開市場委員会）議事録において追加利上げの可能性が言及されたことや、米国の消費者信頼感指数が上振れたことなどで金融政策への警戒感が高まったことから、株価は小幅に下落しました。6月は、米国における利下げ期待が高まったことで、株価は堅調に推移しました。しかし7月中旬に入ると、米国の対中輸出規制強化への懸念などから、半導体関連株主導で下落しました。さらに8月初旬には、米国の雇用統計が市場予想よりも弱い内容であったことから景気の先行きに対する不透明感がにわかに強まり、急落しました。その後は、米国の経済指標の改善や利下げ開始を強く示唆するFRB（米国連邦準備制度理事会）議長の発言などを好感して株価は急反発し、9月中旬にFRBが0.50%ポイントの利下げを決定したことなども好感され、10月半ばにかけて上昇傾向が継続しました。10月下旬は、米国大統領選挙を前に様子見ムードが広がったことや長期金利の上昇が嫌気されて若干調整しましたが、トランプ元大統領が当選したことによる経済政策への期待から米国を中心に上昇し、当作成期末を迎えました。

■為替相場

米ドル為替相場は、対円で小幅に下落（円高）しました。

米ドル対円為替相場は、当作成期首より、日本の金融市場が他国・地域に比べて緩和的な環境が続く見通しなどから、円安基調となりました。過度な円安米ドル高進行に対して日本政府・日銀が為替介入を行ったものの、円安基調は継続しました。しかし2024年7月は、日銀が利上げを実施するとともに追加利上げへの警戒感がくすぶったことから、円高に転じました。その後も、米国金利の低下による日米金利差の縮小や自民党総裁選挙の結果などから、円高基調が継続しました。10月以降は、米国金利が大きく上昇したことで日米金利差の拡大が意識され、当作成期末にかけて円安米ドル高が大きく進行しました。

前作成期末における「今後の運用方針」

■当ファンド

「グローバル・ダイナミックチェンジ・マザーファンド」の組入比率を、通常の状態でも高位に維持することを基本とします。

■グローバル・ダイナミックチェンジ・マザーファンド

株式の運用にあたっては、ニュートン・インベストメント・マネジメント・ノースアメリカ・エルエルシーに運用の指図にかかる権限を委託します。

当ファンドは、日本を含む世界の株式の中から、地政学的観点から各国の国家戦略上重要と判断されるカテゴリー（①エネルギー・資源の安定確保、②コア技術の国内生産化、③安全保障）に注目し、それぞれにおいて投資妙味が高いと考える企業の株式に投資します。

世界が多極化に向かう中、地政学的な変化が投資環境に影響を与え、さまざまな事業や地域にまたがる幅広い投資機会を創出するものと考えられます。このような認識の下、当ファンドの注目するカテゴリーの長期的な見通しは明るく、引き続き、高い成長が期待できる銘柄に投資を行うことで、ファンドの成長をめざしてまいります。

ポートフォリオについて

(2024. 5. 22 ~ 2024. 11. 21)

■当ファンド

当作成期は、「グローバル・ダイナミックチェンジ・マザーファンド」の受益証券の組入比率を高位に維持しました。

■グローバル・ダイナミックチェンジ・マザーファンド

主として、日本を含む世界の株式の中から、地政学的観点から各国の国家戦略上重要と判断される企業の株式に投資することにより、信託財産の成長をめざしました。

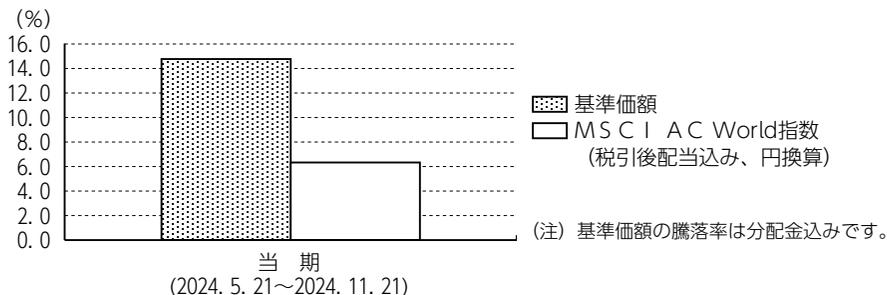
外貨建資産の運用にあたっては、ニュートン・インベストメント・マネジメント・ノースアメリカ・エルエルシーに運用の指図にかかる権限を委託しております。

株式組入比率は、高位を維持しました。業種では、資本財・サービス、情報技術、エネルギーセクター、国別では、米国やカナダの組入比率を高位としました。

代表的な組入銘柄は、ウラン生産企業のカメコ（カナダ）、電力企業のGEベルノバ（米国）、データ分析・防衛関連ソフトウェア企業のパラソル（米国）などでした。

ベンチマークとの差異について

当ファンドは運用の評価または目標基準となるベンチマークを設けておりません。
以下のグラフは、当ファンドの基準価額と参考指数との騰落率の対比です。



分配金について

当作成期は、信託財産の成長に資することを目的に、収益分配を見送らせていただきました。
なお、留保益につきましては、運用方針に基づき運用させていただきます。

分配原資の内訳 (1万口当り)

項 目	当 期	
	2024年 5月22日 ～2024年11月21日	
当期分配金 (税込み) (円)	—	
対基準価額比率 (%)	—	
当期の収益 (円)	—	
当期の収益以外 (円)	—	
翌期繰越分配対象額 (円)	5,991	

(注1) 「当期の収益」は「経費控除後の配当等収益」および「経費控除後の有価証券売買等損益」から分配に充当した金額です。また、「当期の収益以外」は「収益調整金」および「分配準備積立金」から分配に充当した金額です。

(注2) 円未満は切捨てており、当期の収益と当期の収益以外の合計が当期分配金(税込み)に合致しない場合があります。

(注3) 当期分配金の対基準価額比率は当期分配金(税込み)の期末基準価額(分配金込み)に対する比率で、ファンドの収益率とは異なります。

(注4) 投資信託の計理上、「翌期繰越分配対象額」は当該決算期末時点の基準価額を上回る場合がありますが、実際には基準価額を超える額の分配金をお支払いすることはありません。



今後の運用方針

■当ファンド

「グローバル・ダイナミックチェンジ・マザーファンド」の組入比率を、通常の状態でも高位に維持することを基本とします。

■グローバル・ダイナミックチェンジ・マザーファンド

株式の運用にあたっては、ニュートン・インベストメント・マネジメント・ノースアメリカ・エルエルシーに運用の指図にかかる権限を委託します。

当ファンドは、日本を含む世界の株式の中から、地政学的観点から各国の国家戦略上重要と判断されるカテゴリー（①エネルギー・資源の安定確保、②コア技術の国内生産化、③安全保障）に注目し、それぞれにおいて投資妙味が高いと考える企業の株式に投資します。

世界が多極化に向かう中、地政学的な変化が投資環境に影響を与え、さまざまな事業や地域にまたがる幅広い投資機会を創出するものと考えられます。このような認識の下、当ファンドの注目するカテゴリーの長期的な見通しは明るく、引き続き、高い成長が期待できる銘柄に投資を行うことで、ファンドの成長をめざしてまいります。

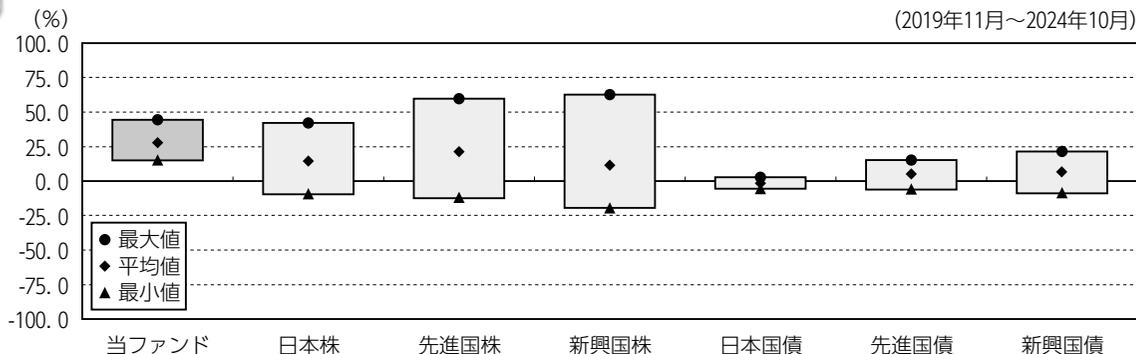


当ファンドの概要

商品分類	追加型投信／内外／株式	
信託期間	2023年5月22日～2033年5月20日	
運用方針	信託財産の成長をめざして運用を行ないます。	
主要投資対象	ベビーファンド	グローバル・ダイナミックチェンジ・マザーファンドの受益証券
	グローバル・ダイナミックチェンジ・マザーファンド	日本を含む世界の金融商品取引所上場株式および店頭登録株式（上場予定および店頭登録予定を含みます。またDR（預託証券）を含みます。）
マザーファンドの運用方法	<p>①主として、日本を含む世界の株式の中から、地政学の観点から各国の国家戦略上重要と判断される企業の株式に投資することにより、信託財産の成長をめざします。</p> <p>②株式の運用にあたっては、ニュートン・インベストメント・マネジメント・ノースアメリカ・エルエルシーに運用の指図にかかる権限を委託します。</p> <p>③株式の組入比率は、通常の状態でも高位に維持することを基本とします。</p> <p>④為替変動リスクを回避するための為替ヘッジは原則として行ないません。</p>	
分配方針	分配対象額は、経費控除後の配当等収益と売買益（評価益を含みます。）等とし、原則として、信託財産の成長に資することを目的に、配当等収益の中から基準価額の水準等を勘案して分配金額を決定します。ただし、配当等収益が少額の場合には、分配を行わないことがあります。	



代表的な資産クラスとの騰落率の比較



	当ファンド	日本株	先進国株	新興国株	日本国債	先進国債	新興国債
最大値	44.4	42.1	59.8	62.7	2.9	15.3	21.5
平均値	27.8	14.5	21.3	11.4	△ 1.5	5.2	6.7
最小値	15.0	△ 9.5	△ 12.4	△ 19.4	△ 5.5	△ 6.1	△ 8.8

上記の図表は、ファンドと代表的な資産クラスを定量的に比較できるように作成したもので、過去5年間における年間騰落率（各月末における直近1年間の騰落率）の平均・最大・最小を、ファンドおよび他の代表的な資産クラスについて表示しています。

※各資産クラスは、ファンドの投資対象を表しているものではありません。

※ファンドの年間騰落率は、分配金（税引前）を分配時にファンドへ再投資したものとみなして計算したものであり、実際の基準価額に基づいて計算した年間騰落率とは異なる場合があります。

※ファンドの年間騰落率において、過去5年間分のデータが算出できない場合は以下のルールで表示しています。

①年間騰落率に該当するデータがない場合には表示されません。

②年間騰落率が算出できない期間がある場合には、算出可能な期間についてのみ表示しています。

③インデックスファンドにおいて、①②に該当する場合には、当該期間についてベンチマークの年間騰落率で代替して表示します。

※上記の騰落率は直近月末から60カ月さかのぼった算出結果であり、決算日に対応した数値とは異なります。

※資産クラスについて

日本株……………配当込みTOPIX

先進国株……………MSCIコクサイ・インデックス（配当込み、円ベース）

新興国株……………MSCIエマージング・マーケット・インデックス（配当込み、円ベース）

日本国債……………NOMURA-BPI国債

先進国債……………FTSE世界国債インデックス（除く日本、円ベース）

新興国債……………JPモルガン ガバメント・ボンド・インデックス-エマージング・マーケット グローバル ダイバーシファイド（円ベース）

※指数について

●配当込みTOPIXの指数値および同指数にかかる商標または商標は、株式会社JPX総研または株式会社JPX総研の関連会社（以下「JPX」といいます。）の知的財産であり、指数の算出、指数値の公表、利用など同指数に関するすべての権利・ノウハウおよび同指数にかかる商標または商標に関するすべての権利はJPXが有します。JPXは、同指数の指数値の算出または公表の誤謬、遅延又は中断に対し、責任を負いません。●MSCIコクサイ・インデックスおよびMSCIエマージング・マーケット・インデックスは、MSCI Inc.（「MSCI」）が開発した指数です。本ファンドは、MSCIによって保証、推奨、または宣伝されるものではなく、MSCIは本ファンドまたは本ファンドに基づいているインデックスに関していかなる責任も負いません。免責事項全文についてはこちらをご覧ください。[<https://www.daiwa-am.co.jp/specialreport/globalmarket/notice.html>] ●NOMURA-BPI国債は、野村フィデューシャリー・リサーチ&コンサルティング株式会社が公表する国内で発行された公募利付国債の市場全体の動向を表す投資収益指数で、一定の組み入れ基準に基づいて構成された国債ポートフォリオのパフォーマンスをもとに算出されます。NOMURA-BPI国債の知的財産権とその他一切の権利は野村フィデューシャリー・リサーチ&コンサルティング株式会社に帰属しています。また、同社は当該指数の正確性、完全性、有用性を保証するものではなく、ファンドの運用成果等に関して一切責任を負いません。●FTSE世界国債インデックスは、FTSE Fixed Income LLCにより運営されている債券インデックスです。同指数はFTSE Fixed Income LLCの知的財産であり、指数に関するすべての権利はFTSE Fixed Income LLCが有しています。●JPモルガン ガバメント・ボンド・インデックス-エマージング・マーケット グローバル ダイバーシファイドは、信頼性が高いとみなす情報に基づき作成していますが、J.P. Morganはその完全性・正確性を保証するものではありません。本指数は許諾を受けて使用しています。J.P. Morganからの書面による事前承認なしに本指数を複製・使用・頒布することは認められていません。Copyright 2016, J.P. Morgan Chase & Co. All rights reserved.

(注) 海外の指数は、為替ヘッジなしによる投資を想定して、円換算しております。



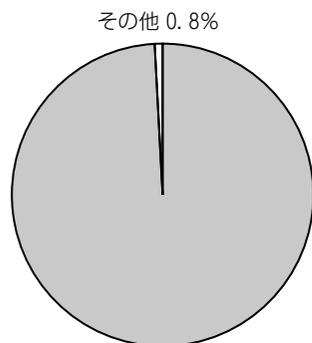
ファンドデータ

当ファンドの組入資産の内容

組入ファンド等

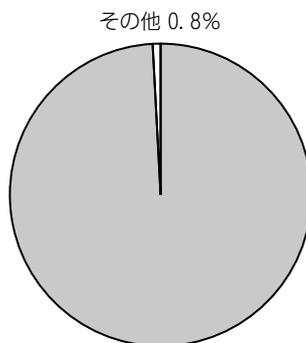
	比 率
グローバル・ダイナミックチェンジ・マザーファンド	99.2%
その他	0.8

資産別配分



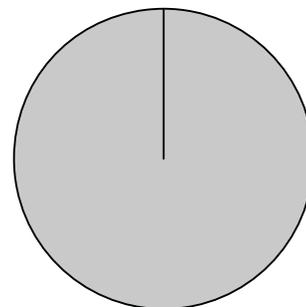
マザーファンド 99.2%

国別配分



日本 99.2%

通貨別配分



日本・円 100.0%

(注1) 上記データは2024年11月21日現在のものです。

(注2) 比率は純資産総額に対する評価額の割合です。

(注3) 国別配分において、キャッシュ部分については「その他」に含めています。

※当ファンドは、上記組入ファンドを通じて実質的な運用を行っています。次ページの「組入上位ファンドの概要」には、組入上位3ファンドまでのファンドの内容を掲載しています。

純資産等

項 目	当期末
	2024年11月21日
純資産総額	16,281,144,242円
受益権総口数	10,181,324,779口
1万口当り基準価額	15,991円

* 当期中における追加設定元本額は2,402,290,555円、同解約元本額は2,760,833,114円です。

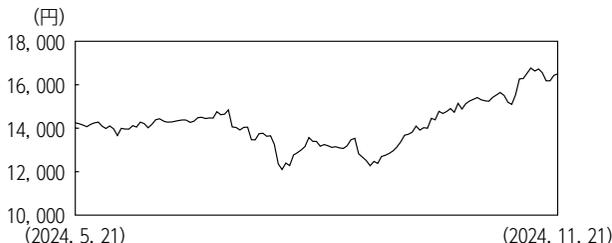
* 組入全銘柄に関する詳細な情報等については、運用報告書（全体版）をご覧ください。

組入上位ファンドの概要

◆グローバル・ダイナミックチェンジ・マザーファンド

(作成対象期間 2024年5月22日～2024年11月21日)

■基準価額の推移



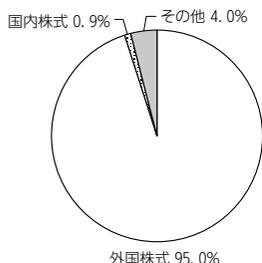
■1万口当りの費用の明細

項目	
売買委託手数料 (株式)	5円 (5)
有価証券取引税 (株式)	0 (0)
その他費用 (保管費用) (その他)	1 (1) (0)
合計	6

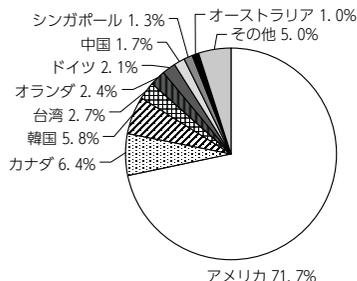
■組入上位銘柄

銘柄名	通貨	比率
HUBBELL INC	アメリカ・ドル	5.1%
GE VERNOVA	アメリカ・ドル	5.0
INGERSOLL-RAND INC	アメリカ・ドル	4.8
PALANTIR TECHNOLOGIES INC-A	アメリカ・ドル	4.4
CAMECO CORP	カナダ・ドル	4.4
AEROVIRONMENT INC	アメリカ・ドル	4.0
CURTISS-WRIGHT CORP	アメリカ・ドル	3.9
AMETEK INC	アメリカ・ドル	3.9
HANWHA AEROSPACE CO LTD	韓国・ウォン	3.8
DANAHER CORP	アメリカ・ドル	3.6
組入銘柄数	35銘柄	

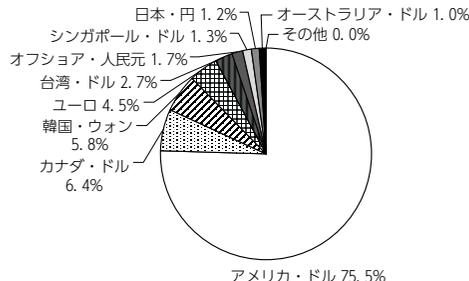
■資産別配分



■国別配分



■通貨別配分



(注1) 基準価額の推移、1万口当りの費用の明細は組入ファンドの直近の作成対象期間のものであります。

(注2) 1万口当りの費用の明細における費用（消費税のかかるものは消費税を含む）は追加、解約によって受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。費用の項目および算出法については前掲しております項目の概要をご参照ください。また、円未満を四捨五入してあります。

(注3) 組入上位銘柄、資産別・国別・通貨別配分のデータは組入ファンドの直近の決算日現在のものです。

(注4) 国別配分において、キャッシュ部分については「その他」に含めています。

(注5) 比率は純資産総額に対する評価額の割合です。

*組入全銘柄に関する詳細な情報等については、運用報告書（全体版）でご覧いただけます。